

**製品名: EAT-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10269**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	SH2D1B
別名	SH2D1B; EAT2; SH2 domain-containing protein 1B; EWS/FLI1-activated transcript 2; EAT-2
遺伝子 ID	117157.0
SwissProt ID	O14796
免疫原	抗血清はヒト SH2D1B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

**背景**

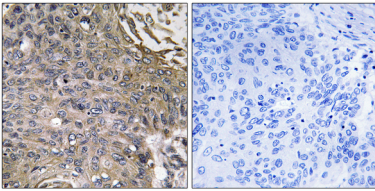
EAT2 は、遊離 SRC (MIM 190090) 相同性 2 (SH2) ドメインを介してリン酸化チロシンに結合することで、抗原提示細胞の表面に発現する受容体を介したシグナル伝達を制御します (Morra et al., 2001 [PubMed 11689425])。[OMIM 提供、2008 年 3 月], 機能:

プロフェッショナル抗原提示細胞の表面に発現する少なくとも4つの受容体 (CD84、CD150、CD229、CD244) を介したシグナル伝達を制御する役割を果たします。、類似性: 1つのSH2ドメインを含みます。、サブユニット: リン酸化受容体CD84、CD150、CD229、CD244に結合します。非リン酸化CD150には結合しません。、

## 研究分野

ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;

## 画像データ



SH2D1B抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。